SONY®

4-196-546-**01**(4)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-UX512/UX513F

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

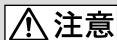
警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- "メモリースティック マイクロ"、"M2"および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "MagicGate"はソニー株式会社の商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

本製品はメモリースティック マイクロ™（M2™）メディアに対応しています。
"M2™"は"メモリースティック マイクロ™"の略称です。本文では今後略称M2™を用いて記述します。

目次

準備

基本の操作

その他の録音操作

その他の再生操作

編集する

FMラジオを聞く（ICD-UX513Fのみ）

メニューについて

パソコンを活用する

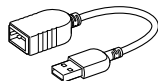
その他

困ったときは

準備1：箱の中身を確認する

本体(1)

ステレオヘッドホン(1)

USB接続補助ケーブル(1)

お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ソニー単4形充電式ニッケル水素電池(1)

充電式電池用キャリングケース(1)

パソコン用アプリケーションソフト
Sound Organizer (CD-ROM)(1)

キャリングポーチ(1)

取扱説明書(1)

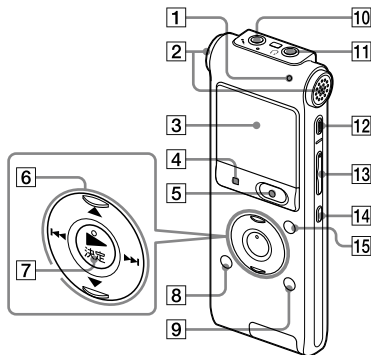
保証書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

上手な録音ガイド(1)

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

本体(表面)

1 録／再ランプ

2 内蔵マイク(ステレオ)

3 表示窓

4 ■ 停止ボタン

5 ● 録音／一時停止ボタン

6 コントロールボタン (▲、▼ ／ ⏮ (早戻し)、⏭ (早送り))

7 ► (再生) ／決定ボタン*

8 🗀 (フォルダ)ボタン

9 メニュー／ノイズカットボタン

10 🎤(マイク)ジャック*

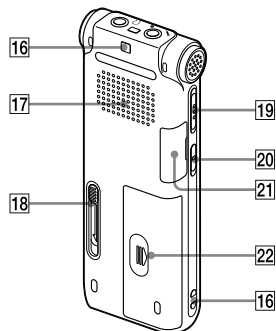
11 🎧 (ヘッドホン)ジャック

12 消去ボタン

13 音量－／＋*ボタン

14 ⟲(リピート) A-Bボタン

15 トラックマークボタン

本体(裏面)

16 ストラップ取り付け部
(ストラップは付属していません。)

17 スピーカー

18 スライド式USB端子用つまみ

19 ホールド／電源スイッチ

20 DPC (速度調節)スイッチ

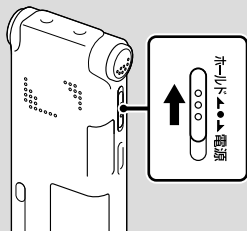
21 M2™/microSDメモリーカードスロット

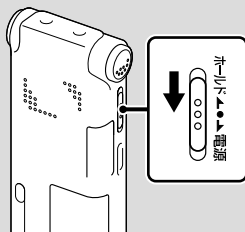
22 電池ぶた

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

誤操作を防止する(ホールド)

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

本機をホールド状態にするには

ホールド／電源スイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

ホールドを解除するには

ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。

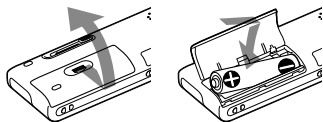
アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

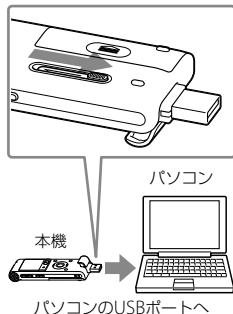
準備2：充電する

パソコンを使って充電する

本機を起動しているパソコンと接続して、電池マークが「FULL」になるまで充電してください。
電池を使いきった状態から約3時間30分で充電が完了します。*[1]

1 充電池を入れる。

電池ぶたを矢印の方向へずらして開け、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）を入れ、ふたを閉めます。

2 本機をパソコンにつなぐ。

裏面のUSB端子用つまみを矢印の方向へスライドして、USB端子を起動しているパソコンにつなぎます。*[2]

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

充電中が完了すると、電池マークが「FULL」と表示されます。

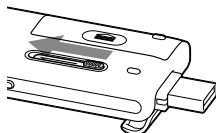
3 本機をパソコンから取りはずす。

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

① 録／再ランプが消えていることを確認する。

② パソコンで下記の操作を行う。
Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDERの取り外し]を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

③ 本機をパソコンのUSBポートからはずし、本機のUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。

*1 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

*2 お使いのパソコンに本機を直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ご注意

電池マークがアニメーション表示されていない場合は、充電されていません。原因／処置については、「故障かな？と思ったら」（103ページ）をご覧ください。

充電済みの充電池、または別売の単4形アルカリ乾電池を使うときは

手順1にしたがって準備します。

ご注意

単4形アルカリ乾電池（別売）は充電できません。

ヒント
- 本機にはマンガン電池はお使いになれません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルやアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1分間、時計は動いています。

USB ACアダプターを使って充電する

別売のUSB ACアダプター（AC-U501ADなど）を使って充電することもできます（93ページ）。

電池を充電／交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

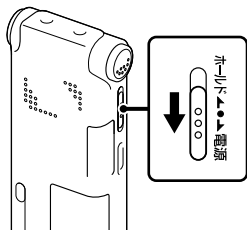
電池の残量表示

：「電池が残りわずかです」が表示されます。電池の充電／交換時期が近づいています。

⬇

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

準備3：電源を入れる

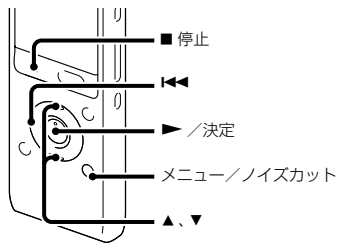
電源を入れるには

ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドすると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

電源を切るには

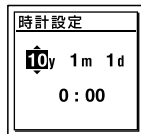
ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドすると、「電源オフ」のアニメーションが表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます。（76ページ）

準備4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1分以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

電池を充電後すぐに時計を合わせる

1 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。
年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

2 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

① メニュー／ノイズカットボタンを押してメニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

（FM(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

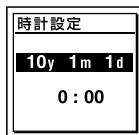
② コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して（本体設定）タブを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「時計設定」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「自動」または「手動」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

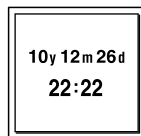
「自動」を選んだ場合：本機をパソコンにつないで付属のアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「10y1m1d」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

4 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。
年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意
それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

現在日時を表示するには

停止中に ■ 停止ボタンを押すと現在日時が約3秒間表示されます。

録る

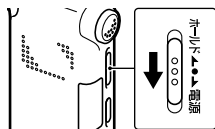
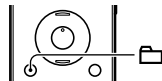
ご注意

- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（13ページ）を確認してください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

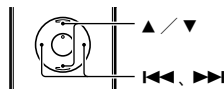
ヒント

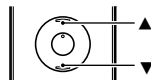
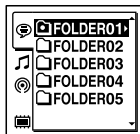
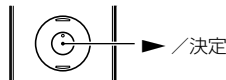
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（39ページ）をしながら録音することをおすすめします。
- 録音の設定は、付属の「上手な録音ガイド」を参照してください。

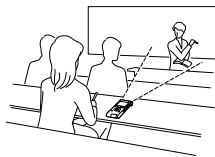
フォルダを選ぶ

1 ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。

2 （フォルダ）ボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブを選び、コントロールボタンの ⏭（早送り）を押す。

ご注意

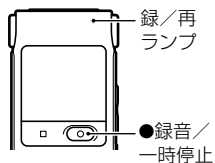
お買い上げ時には、(Voice)タブのみ表示されます。
(Music)タブ、(Podcast)タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます（85、89ページ）。
また、(内蔵メモリー)タブは、本機にメモリーカードを入れると表示されます（33ページ）。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して録音したいフォルダを選ぶ。

お買い上げ時には FOLDER 01 ～ 05の5個のフォルダが作られています。

5 ►（再生）／決定ボタンを押す。

録音を始める(オート(AGC)録音)

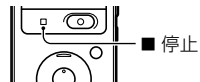
1 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

2 停止中に ● 録音/一時停止ボタンを押す。

録/再ランプが赤く点灯します。

● 録音/一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的に一番最後に録音されます。

録音を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

「アクセス中...」のアニメーションが表示され、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

画面上に「アクセス中...」のアニメーションが出ている間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）
今録音したばかりのファイルを聞く	►（再生）／決定ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中にコントロールボタンの⏮（早戻し）を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。⏮（早戻し）を離すと、離したところから再生が始まります。

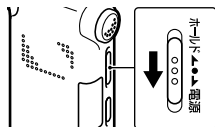
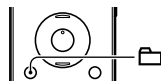
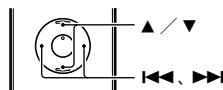
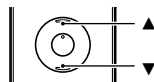
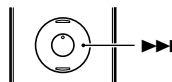
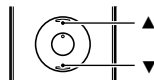
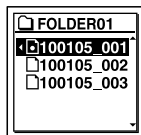
* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

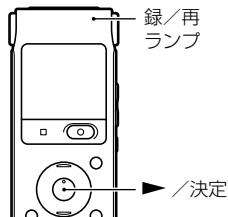
ヒント

- ひとつのフォルダには最高199のファイルが録音できます。
- 付属のSound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去することができます（88ページ）。
- 録音の設定は、付属の「上手な録音ガイド」を参照してください。

聞く

再生を始める

1 ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。

2 🗀（フォルダ）ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブ、♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブのいずれかを選び、コントロールボタンの ⏭（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、フォルダを選ぶ。

5 コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押す。

6 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、ファイルを選ぶ。

7 ►（再生）／決定ボタンを押す。

すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。（メニュー「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません(74ページ)。）

8 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

再生を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

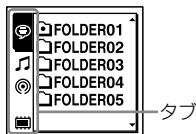
再生の途中、その位置で停止する	►（再生）／決定ボタンを押す。 もう一度 ►（再生）／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルの頭に戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く1回押す。*1*2
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*3）
次のファイルに進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く1回押す。*1*2
さらに次のファイルに進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*3）

*1 トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（53ページ）。

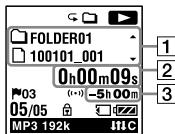
*2 メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（40ページ）。

*3 トラックマークには止まりません。

タブ表示について

本機で保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分けて管理され、タブで表示されます。フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

(Voice)：録音可能エリア。本機で録音したファイルを管理するためのエリアです。
(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するためのエリアです。
(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するためのエリアです。
(内蔵メモリー)または (外部メモリー)：本機の内蔵メモリーと外部メモリー（メモリーカード）を切り換えることができます（33、34ページ）。

お買い上げ時には、(Voice)タブのみ表示されます。(Music)タブ、(Podcast)タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます（85、89ページ）。
また、(内蔵メモリー)タブは、本機にメモリーカードを入れると表示されます（33ページ）。

ファイル再生時の画面表示について

1 ファイル情報表示

コントロールボタンの▲または▼を押して再生中のファイル情報を確認することができます。本機で録音されたファイルは、下記のように表示されます。

：フォルダ名を表示：FOLDER01 ～ FOLDER05

：ファイル名を表示：年月日_番号（100101_001またはFM_100101_001）

：アーティスト名を表示：My Recording

：タイトル名を表示：年月日_番号（100101_001またはFM_100101_001）

2 カウンタ情報表示

メニューでお好みの表示モードを選ぶことができます（74ページ）。
経過時間：1ファイルの経過時間
残り時間：1ファイルの残り時間
録音日付：録音した日付
録音時刻：録音した時刻

3 録音可能時間表示

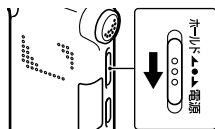
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

消す

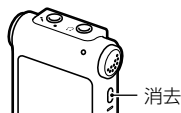
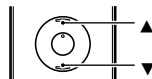
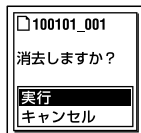
ご注意

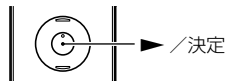
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

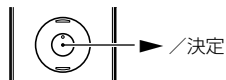
ファイルを選び消去する

1 ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（10ページ）。

2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ。

3 消去ボタンを押す。

「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選ぶ。

5 ►（再生）／決定ボタンを押す。

「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが1件消去されます。
ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

途中で消去をやめる

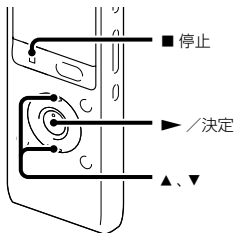
1 「ファイルを選び消去する」の手順4で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

他のファイルを消去するには

「ファイルを選び消去する」の手順2から手順5を繰り返します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

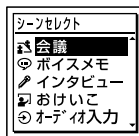
ファイル分割（56ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで「ファイルを選び消去する」の手順3から手順5の操作をします。

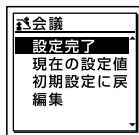
録音の設定を変える

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（70ページ）やマイク感度（71ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。

1 メニュー → (録音)タブ → 「シーンセレクト」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

（(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みのシーンを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

シーンセレクト以外にも上手に録音するための設定方法があります。
それぞれの用途に合わせた、より詳細な録音設定については、ICレコーダーカスタマーサポートページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/ic-rec-support

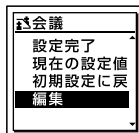
3 コントロールボタンの ▲ または ▼を押して、「設定完了」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

（会議）	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
（ボイスメモ）	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
（インタビュー）	1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。
（おけいこ）	広い音声帯域で収音します。教室での講座や、合唱の練習を録音するときに適しています。
（オーディオ入力）	ポータブルCD ／ MDプレーヤー、テープレコーダーなど、他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）と本機を接続してダビングするときの設定です。
（Myシーン）	お好みのおすすめセッティングを保存しておくためにご利用ください。

ご注意

- 録音中にシーン設定することはできません。
- 手順1 ～ 3でシーンセレクト画面が表示されてから操作しない状態が60秒以上続くと、停止画面になります。

シーンセレクトの設定項目をお好みに編集するには

1 「用途に合わせた録音シーンを選ぶ」の手順2で、編集したいシーンを選択したら、コントロールボタンの▲または▼を押して、「現在の設定値から編集」または「編集」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、変更したいメニューを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、変更したい設定項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは70 ～ 72ページをご覧ください。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、「編集完了」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

設定項目を変更してもシーンセレクトの選択は継続されます。

シーンセレクトの設定項目を初期値に戻すには

1 「用途に合わせた録音シーンを選ぶ」の手順2で、初期値に戻したいシーンを選択したら、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「初期設定に戻す」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。
「設定値を初期値に戻しますか？」と表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。
設定項目がお買い上げ時の状態に設定されます。

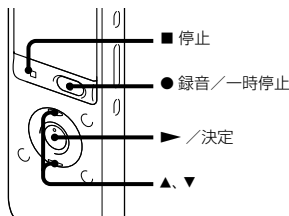
3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

お買い上げ時の設定項目

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは70 ～ 72ページをご覧ください。

	(会議)	(ボイスメモ)	(インタビュー)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 128kbps	MP3 192kbps
マイク感度	高	低	中
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
VOR	オフ	オフ	オフ
シンクロ録音	オフ	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	MIC IN	MIC IN

	(おけいこ)	(オーディオ入力)	(My シーン)
録音モード	MP3 192kbps	MP3 192kbps	MP3 192kbps
マイク感度	中	低	中
LCF(Low Cut)	オフ	オフ	オフ
VOR	オフ	オフ	オフ
シンクロ録音	オフ	オン	オフ
外部入力選択	MIC IN	AUDIO IN	MIC IN

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

1 メニュー → (録音)タブ → 「VOR」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

(FM(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

VOR 録音が表示されます。

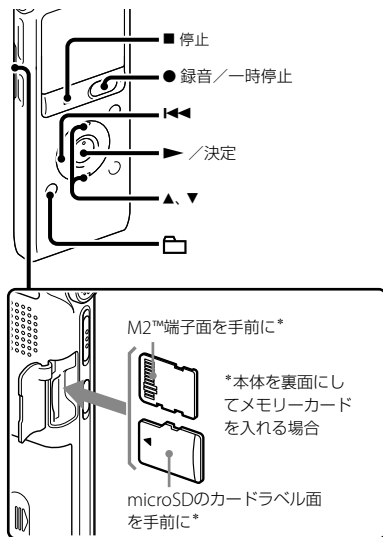
マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、VOR ●II（録音一時停止）が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- VOR録音中に ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。
- シンクロ録音中(37ページ)、FMラジオ放送録音中(62ページ)はVOR機能は働きません。

メモリーカードに録音する

本機では、内蔵メモリーの他に、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

本機で使用できるメモリーカード

本機では、以下のメモリーカードをお使いになれます。

- メモリースティックマイクロ™(M2™)：16 GBまで対応。
- microSDカード：2 GB以下(FAT16)のmicroSDまたは4 GB ～ 32 GB (FAT32)のmicroSDHC。

64 MB以下のカードについては対応しておりません。

当社基準において動作確認をしたmicroSD/microSDHCカードは次のとおりです。

microSD/microSDHCカード

発売元	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
SONY	○	○	○	−	−
東芝	○	○	○	○	−
Panasonic	○	○	○	○	−
SanDisk	○	○	○	○	○

○：動作確認済み
−：未確認
2010年9月現在

ICD-UX512/UX513Fでは、2010年9月現在発売されているメモリーカードによる動作確認を行っています。
最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ
http://www.sony.co.jp/ic-rec-support
をご覧ください。

本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、M2™/microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。
1枚のM2™には、最大4,074件のファイルを記録できます。

ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを入れる

録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機でフォーマットして空の状態にしてからお使いください(76ページ)。

1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。

2 前ページの図の向きで、M2™またはmicroSDカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込み、カバーを閉める。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内に5個のフォルダが作成されます。
フォルダとファイルの構成は、内蔵メモリーとは異なります(81ページ)。

ご注意

- 録音/再生/フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットのカバーは、しっかり閉じてください。また、挿入口には、液体・金属・燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

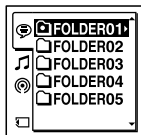
メモリーカードに切り換える(フォルダ選択画面から)

1 (フォルダ)ボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ⏮(早戻し)を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (内蔵メモリー)タブを選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「メモリーカード」を選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

その他の録音操作

(内蔵メモリー)タブが (外部メモリー)に変わり、フォルダ選択画面が表示されます。

4 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

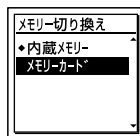
内蔵メモリーに戻すには

手順3で「内蔵メモリー」を選びます。

メモリーカードに切り換える(メニューから)

1 メニュー → (本体設定)タブ →「メモリー切り換え」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「メモリーカード」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「内蔵メモリー」設定になっています。
メモリーカードがフォーマット済みの場合は手順5に進んでください。

3 メモリーカードをフォーマットしていない場合は、メニュー →「」(本体設定)タブ →「フォーマット」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。
「全てのデータを消去しますか？」と表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

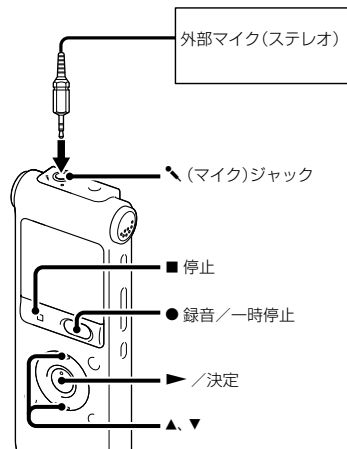
内蔵メモリーに戻すには

手順2で「内蔵メモリー」を選びます。

録音を開始するには

フォルダを選び、● 録音／一時停止ボタンを押します。詳しい操作方法については、17ページをご覧ください。

接続して録音する

外部マイクをつないで録音する

1 停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(72ページ)。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「MIC IN」を選び、 ►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

入力レベルが適正ではない場合は、本機のマイク感度の設定を変更してください。

プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

お使いになれるマイク

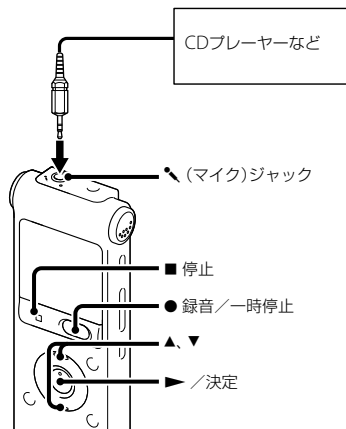
ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン(ステレオマイク) ECM-CS10、ECM-CZ10 (別売)などをお使いいただけます。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売のECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。接続方法などについて詳しくは、ECM-TL1の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能（31ページ）が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器の音声を録音する

CDプレーヤーなど他の機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。
メニューの「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選ぶと、他の機器の音声を録音するのに適した録音設定になります。設定方法は、28ページをご覧ください。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

• 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子(ステレオミニジャック)を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。
メニューの「シーンセレクト」で「オーディオ入力」を選ぶと、「オン」に設定されています(お買い上げ時)。

1 メニュー → (録音)タブ → 「シンクロ録音」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子(ステレオミニジャック)を別売のソニー製オーディオコード(48ページ)を使って、本機の (マイク)ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(72ページ)。

5 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「Audio IN」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

6 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

SYNC が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

7 つないだ機器で再生を始める。

SYNC 録音 が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、SYNC ●II が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

ご注意

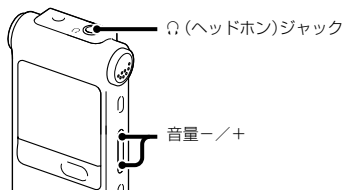
- シンクロ録音中は、録音一時停止(20ページ)やVOR録音(31ページ)、トラックマーク登録(53ページ)はできません。
- ご使用の機器によっては、音声入力レベルの違いなどによりシンクロ録音機能が正常に動作しない場合があります。
- 他の機器の音声を録音する場合はマイク感度の切り替えはできません。

シンクロ録音機能を使わずに録音するには

「シンクロ録音機能を使って録音する」の手順2で「オフ」を選び、手順3 ～ 7に従ってつないだ機器から録音を行います。

手順6で、● 録音/一時停止ボタンを押すと、内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声が録音されます。

録音中に操作する

録音中の音をモニターする

付属のステレオヘッドホンを🎧（ヘッドホン）ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量（モニター音量）は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意

ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードが本機に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。

再生の設定を変える

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
  付属のステレオヘッドホンを🎧(ヘッドホン)ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを🎧(ヘッドホン)ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中にコントロールボタンの ▶▶I（早送り）または I◀◀（早戻し）を何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます（72ページ）。
コントロールボタンの I◀◀（早戻し）を1回押すごとに約3秒前、▶▶I（早送り）を1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

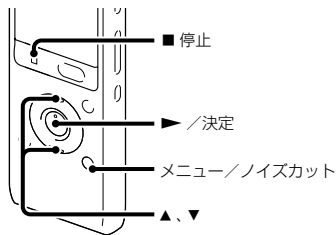
- 早送り（キュー）：
  再生中にコントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：
  再生中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡最後のファイルの終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。

- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中にコントロールボタンの I◀◀（早戻し）を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能

再生時に、ノイズカット機能を有効に設定すると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

ご注意

- 録音した音声の状態によって、効果に違いが出る場合があります。
- 内蔵スピーカーで再生している場合はノイズカット機能は働きません。
- ノイズカット機能が「オン」になっている場合は、エフェクト機能は働きません。
- FMラジオ受信時はノイズカット機能は働きません。
- AAC-LCならびにWMAファイル再生時は、ノイズカット機能は働きません。

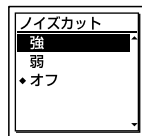
1 停止／再生時にメニュー／ノイズカットボタンを2秒以上押す。

ノイズカット設定画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「強」または「弱」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

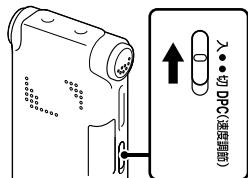
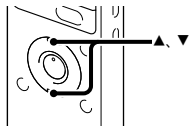
その他の再生操作

ノイズカットを解除するには

手順2で「オフ」を選択します。

メニューで設定するには

メニューの ▶(再生)タブから「ノイズカット」を選び、設定します。

再生速度を調節する — DPC (Digital Pitch Control)

本体(裏面)

本体(表面)

再生速度を0.50倍速から2.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

1 DPC (速度調節)スイッチを「入」にする。

2 再生中にコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、再生速度を調節する。

▼：0.05倍速刻みで遅くする(x0.50 ～ x1.00)

▲：0.10倍速刻みで速くする(x1.00 ～ x2.00)

ボタンを長押しすると連続して設定できます。

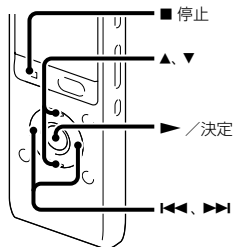
お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

通常の再生速度に戻すには

DPC (速度調節)スイッチを「切」にします。

ご注意

ファイルがLPCM/WMA/AAC-LCの場合は、再生速度はx0.50 からx1.00の間でしか調節できません。「NO FAST」が表示されます。

音質を切り換える

メニューで再生する音楽によって適した効果を設定します。

1 停止／再生時にメニュー → ▶（再生）タブ →「エフェクト」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

（FM(FMラジオタブ）は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みの音質を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

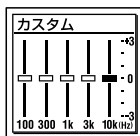
3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1	低音が強調されます。
ベース2	低音が更に強調されます。
カスタム	5バンドのサウンドレベルを自由に設定できます。
オフ	エフェクト機能を無効にします。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

自分好みの音質に設定するには

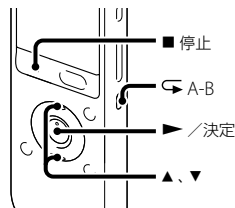
1 手順2で「カスタム」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。
カスタム設定画面が表示されます。

2 100Hz、300Hz、1kHz、3kHzまたは10kHzの周波数帯のレベルを調節する場合は、コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してレベルを調節する。
-3 ～ +3の7段階に設定できます。

3 ►（再生）／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- 内蔵スピーカーで再生している場合やFMラジオ受信中には設定は無効となります。
- ノイズカットが有効に設定されている場合は、エフェクト機能は働きません。

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 停止／再生時にメニュー →► （再生）タブ →「再生モード」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

（(FMラジオタブ）は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「1」、「□」、「ALL」、「1」、「□」または「ALL」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1件ファイルを再生する。
🗀	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
⟳1	1件ファイルをリピート再生する。
⟳🗀	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
⟳ ALL	全ファイルをリピート再生する。

お買い上げ時は、「🗀」設定になっています。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に ⟳（リピート） A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

2 もう一度 ⟳（リピート） A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⟳A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

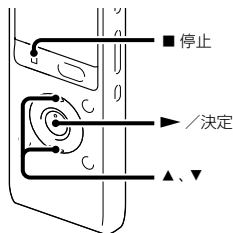
A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
►（再生）／決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■ 停止ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⟳（リピート） A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意

A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

希望の時刻に再生を始める ― アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
1ファイルに対し、1件のアラームが設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

①停止時にメニュー →▶（再生）タブ →「アラーム」を選び、→（再生）／決定ボタンを押して決定する。

（(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

②コントロールボタンの▲または▼を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

①コントロールボタンの▲または▼を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

②**「日時」を選んだ場合**：
「準備4：時計を合わせる」(15ページ)に従って年月日、時刻を設定します。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンの▲または▼を押して「時」を選び、►（再生）／決定ボタンを押し、同じようにコントロールボタンの▲または▼を押して「分」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押してお好みのアラームパターンを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「実行中. . .」の表示が出ます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューを終了すると「(•)」が表示されて、選んだファイルにアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

アラーム再生したいファイルを表示し、2 ～ 5の手順を繰り返します。

設定内容を解除するには

手順2 「アラーム設定をする」の手順②で「オフ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定します。アラームが解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。

再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります）。

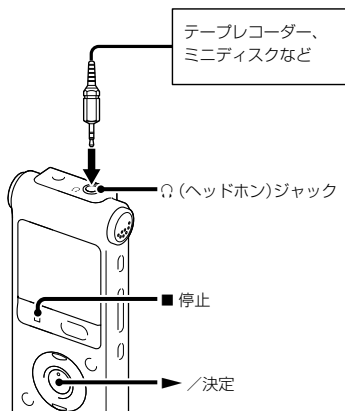
アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

ご注意

- 1件のファイルには1個のアラームしか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、録音したファイルがない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「操作音」を「オフ」に設定していてもアラームが鳴ります（75ページ）。
- データ更新中にアラーム設定した時刻になった場合は、そのアラームは自動的に破棄されます。
- 2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方のファイルのみアラームが鳴ります。
- アラーム設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみアラーム設定されます。
- アラーム設定したファイルを消去すると、ファイルに設定されたアラームも一緒に解除されます。
- ポッドキャストにはアラーム設定できません。
- メモリーカードに保存されているファイルには、アラーム設定できません。

接続して再生する

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード*を使ってつなぐ。

2 本機の ►（再生）／決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機のファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ヒント

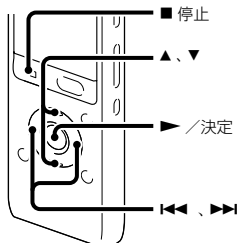
録音された音量が適切でない場合は、本機の再生音量を調節してください(22ページ)。

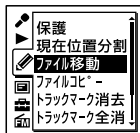
***お使いになれるオーディオコード(別売)**

ラインインを使って接続するときは、次の抵抗なしオーディオコードをお使いください。

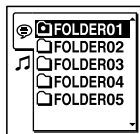
	本機側	接続先機器側
RK-G139	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ミニプラグ（モノラル）（抵抗なし）
RK-G136	ステレオミニプラグ（抵抗なし）	ステレオミニプラグ（抵抗なし）

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止中にメニュー → (編集)タブ → 「ファイル移動」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

3 コントロールボタンの I◄◄（早戻し）を押した後、コントロールボタンの▲または▼を押して (Voice)タブまたは ♫(Music)タブを選び、►►I（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、移動先のフォルダを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

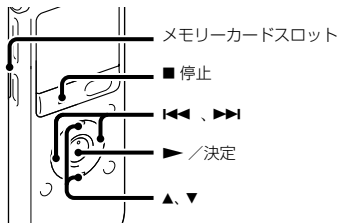
5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

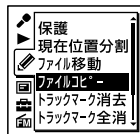
ご注意

- ポッドキャストは移動できません。
- 保護されている(59ページ)ファイルは移動できません。
- 別のメモリーにはファイルは移動できません。

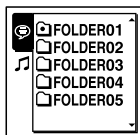
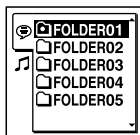
ファイルを別のメモリーにコピーする

内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。
操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 コピーしたいファイルを表示する。

メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます。(33、34ページ)

2 メニュー → (編集)タブ → 「ファイルコピー」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「メモリーカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」というアニメーションが表示され、フォルダ選択画面が表示されます。

3 コントロールボタンの ⏮ (早戻し)を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブまたは ♫ (Music)タブを選び、⏭ (早送り)を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、コピー先のフォルダを選び、► （再生）／決定ボタンを押す。

「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

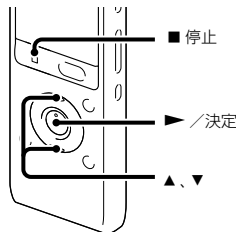
手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

コピー中に中止するには

手順4で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。

ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ない場合は、ファイルコピーができない場合があります。
- ポッドキャストはコピーできません。
- コピーの途中でメモリーカードの抜き差しおよび電源を切らないでください。ファイルが破損する恐れがあります。

フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合（59ページ）、そのファイルは消去されません。

1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。

2 メニュー → ✎(編集)タブ →「フォルダ内消去」を選び、► (再生)／決定ボタンを押して決定する。

(FM(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「フォルダ内のファイルを全て消去しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生)／決定ボタンを押す。

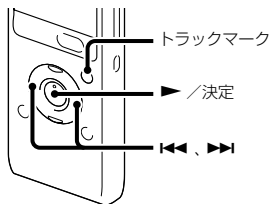
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、► (再生)／決定ボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

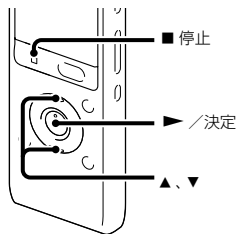
録音中、再生中、一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。
(トラックマーク)表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。

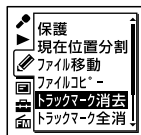
ご注意

- 本機で録音したファイルについてのみトラックマークを設定することができます。ただし、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、トラックマークが設定できなくなる場合があります。
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

トラックマークを付けた位置を探して聞くには

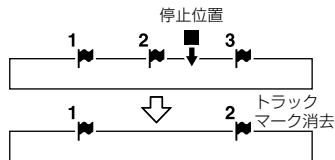
停止中にコントロールボタンの ⏮（早戻し)または ⏭（早送り)を押します。
(トラックマーク)表示が1回点滅したら、
►（再生）／決定ボタンを押します。

トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。

2 メニュー → ✎(編集)タブ →「トラックマーク消去」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

（FM(FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

「トラックマークを消去しますか？」と表示されます。

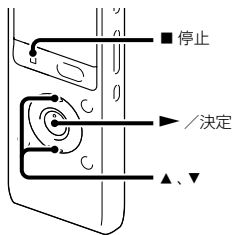
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

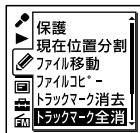
「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。

停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する

1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 メニュー → (編集)タブ →「トラックマーク全消去」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

(（FMラジオタブ）は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

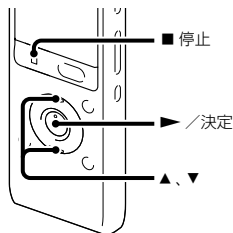
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

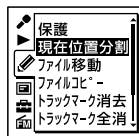
途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

ファイルを分割する

現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 メニュー → (編集)タブ → 「現在位置分割」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「分割しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	▲ ⇩ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

分割したファイル番号の末尾に連番(「_1」、「_2」)が振られる。

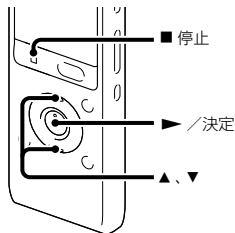
4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

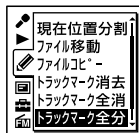
ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外(パソコンからコピーしたファイル)は分割できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルは元に戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

途中で分割をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►(再生)／決定ボタンを押します。

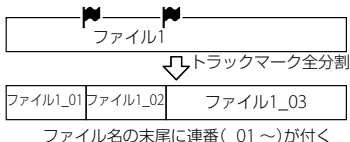
すべてのトラックマーク位置で分割する

1 分割したいファイルを選ぶ。

2 停止時にメニュー → (編集)タブ → 「トラックマーク全分割」を選び、►(再生)／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「全てのトラックマークで分割しますか?」と表示されます。

編集する

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

「分割中…」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番(_01 〜)が振られます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

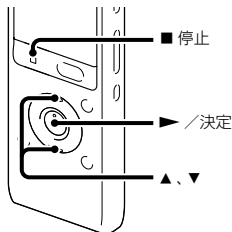
手順3で「キャンセル」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押します。

ヒント

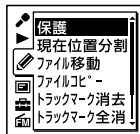
「トラックマーク全分割」の実行中に分割を中断したいときは、■ 停止ボタンを押すことで中断できます。分割が中断されるまでのファイルについては分割されます。

ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外(パソコンからコピーしたファイル)は分割できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルは元に戻せません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 (Voice)タブ、(Music)タブの中から、保護したいファイルを表示する。

2 停止時にメニュー → (編集)タブ → 「保護」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

((FMラジオタブ)は、ICD-UX513Fのみ表示されます。)

「保護に設定しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

ファイルが保護されます。保護されたファイルには (保護)マークが表示されます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

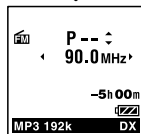
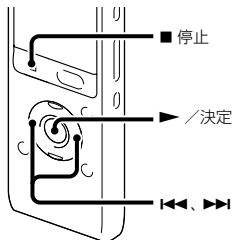
保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。ただし、手順2では「保護を解除しますか？」と表示されます。

ご注意

(Podcast)タブの中のファイルは保護設定できません。

FMラジオ放送を選局する

周波数で選局する

FMラジオを聞くときは、付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をしますので、🎧(ヘッドホン)ジャックにつないでください。

ご注意

FMラジオ受信中は充電ができません。

1 停止時にメニュー → FM(FMラジオ)タブ →「FMラジオ」を選び、►(再生)／決定ボタンを押して決定する。

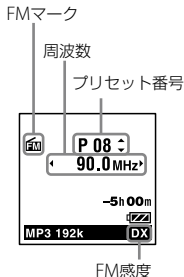
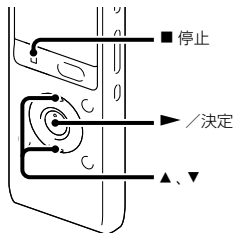
FMラジオモードに入ります。

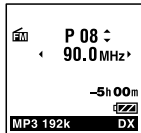
2 コントロールボタンの ⏮(早戻し)または ⏭(早送り)を繰り返し押して選局する。

3 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

オートスキャン選局するには

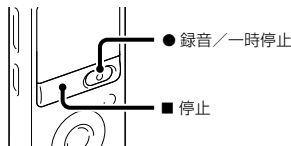
手順2で、コントロールボタンの⏮(早戻し)または ⏭(早送り)を、画面上の周波数が変わり始めるまで長押しすると、周波数をスキャンし、放送を受信すると自動的に停止します。
放送を受信できない場合は、コントロールボタンの ⏮(早戻し)または ⏭(早送り)を1回ずつ繰り返し押してください。

FMラジオ受信時の表示窓

プリセット登録されている放送局から選局する

FMラジオ放送局がプリセット登録されているときは(63ページ)、プリセット番号で選局できます。

1 停止時にメニュー → 📻(FMラジオ)タブ →「FMラジオ」を選び、►(再生)／決定ボタンを押して決定する。

FMラジオモードに入ります。

2 お好みの放送局のプリセット(P)番号が表示されるまで、コントロールボタンの ▲ または ▼ を繰り返し押して選局する。

3 FMラジオを止めるには ■ 停止ボタンを押す。

FMラジオ放送を録音する

1 録音したい放送局を選択する。

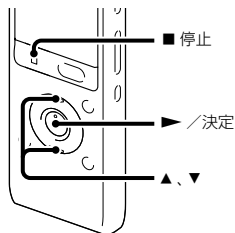
2 ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を開始する。

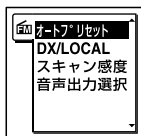
3 録音を止めるには ■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- FMラジオ起動中は、メモリー切り換えや、フォルダの選択ができません。あらかじめ録音したいメモリーとフォルダを選択してから、FMラジオを起動してください。
- FMラジオ放送は、LPCMで録音できません。録音モードを「LPCM 44.1kHz/16bit」に設定している場合は、「MP3 192kbps」で録音されます。
- FMラジオ録音中は、マイク感度の設定、LCF機能、VOR機能は働きません。

FMラジオ放送局をプリセット登録する

自動でプリセット登録する

FMラジオ放送局を検出し、プリセット番号に自動で登録することができます。最大30件まで登録することができます。

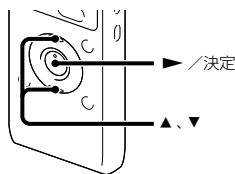
1 FMラジオ受信中にメニュー → FM（FMラジオ）タブ →「オートプリセット」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

「オートプリセットしますか？」と表示されます。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

受信可能な放送局をスキャンし、プリセット番号に低い周波数から高い周波数へ順に自動登録します。
オートプリセット実行中、登録予定のプリセット番号が点滅します。

オートプリセットを止めるには

■ 停止ボタンを押してください。■ 停止ボタンを押した時点までに登録したプリセット番号は保持されます。

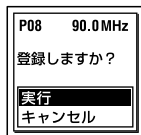
手動でプリセット登録する

登録されていないFMラジオ放送局をプリセット登録することができます。最大30件まで登録することができます。

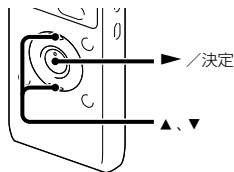
1 「周波数で選局する」の手順1、2で、プリセット登録したい放送局を選局する。

選局した放送局がプリセット登録されていない場合、「P--」が表示されます。この場合、新たにプリセット登録することができます。

2 ►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号と周波数、および「登録しますか？」が表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

放送局がプリセット登録されます。

プリセット登録を消去する

1 「プリセット登録されている放送局から選局する」の手順1、2で、登録を消去したい放送局のプリセット番号を表示する。

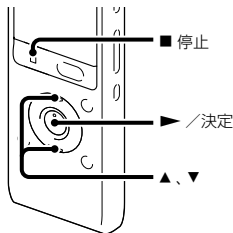
2 ►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号と周波数、および「消去しますか？」が表示されます。

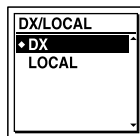
3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

プリセット番号が「P--」へ変わります。

FMラジオ受信の設定を変更する

受信感度を切り換える

FMラジオ受信中に受信感度を設定できます。

1 FMラジオ受信中にメニュー → FM（FMラジオ）タブ →「DX/LOCAL」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

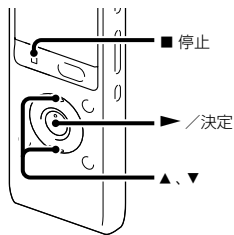
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「DX」または「LOCAL」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

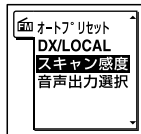
DX	通常はこちらを選択してください。
LOCAL	放送局の送信アンテナ周辺の強電界による混信／つぶれなどがあるときは、こちらを選択してください。

お買い上げ時は、「DX」設定になっています。

ご注意

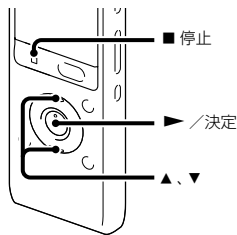
弱電界により受信状態が良くないときは、DXのままお使いください。

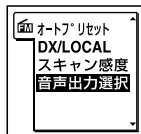
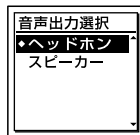
スキャン感度を切り換える

プリセット時のスキャン感度を設定できます。

1 FMラジオ受信中にメニュー → (FMラジオ)タブ →「スキャン感度」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「高(SCAN H)」または「低(SCAN L)」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

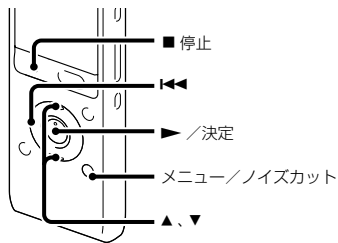
お買い上げ時は、「高(SCAN H)」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

音声の出力先を切り換える

FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、メニューで音声の出力先をスピーカーあるいはヘッドホンへ切り換えることができます。

1 FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中にメニュー → (FMラジオ)タブ →「音声出力選択」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「ヘッドホン」または「スピーカー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「ヘッドホン」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューの使いかた

1 メニュー／ノイズカットボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

（FM（FMラジオタブ）は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

2 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して （録音）、▶（再生）、（編集）、（表示）、（本体設定）、（ラジオ）タブのいずれかを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

（FM（FMラジオタブ）は、ICD-UX513Fのみ表示されます。）

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して設定し、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にコントロールボタンの ⏮（早戻し）を押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニュー／ノイズカットボタンを押します。

メニュー一覧

タブ	メニュー	動作モード（○：設定可能 ー：設定不可）				
		停止中	再生中	録音中	ラジオ受信中*	ラジオ録音中*
（録音）	シーンセレクト	○	ー	ー	ー	ー
	録音モード	○	ー	ー	ー	ー
	マイク感度	○	ー	○	ー	ー
	LCF(Low Cut)	○	ー	○	ー	ー
	VOR	○	ー	○	ー	ー
	シンクロ録音	○	ー	ー	ー	ー
	外部入力選択	○	ー	ー	ー	ー
（再生）	ノイズカット	○	○	ー	ー	ー
	エフェクト	○	○	ー	ー	ー
	イージーサーチ	○	○	ー	ー	ー
	再生モード	○	○	ー	ー	ー
	アラーム	○	ー	ー	ー	ー
（編集）	保護	○	ー	ー	ー	ー
	現在位置分割	○	ー	ー	ー	ー
	ファイル移動	○	ー	ー	ー	ー
	ファイルコピー	○	ー	ー	ー	ー
	トラックマーク消去	○	ー	ー	ー	ー
	トラックマーク全消去	○	ー	ー	ー	ー
（編集）	トラックマーク全分割	○	ー	ー	ー	ー
	フォルダ内消去	○	ー	ー	ー	ー
（表示）	表示切り換え	○	○	○	ー	○
	ランプ	○	ー	ー	ー	ー
	バックライト	○	ー	ー	ー	ー
（本体設定）	メモリー切り換え	○	ー	ー	ー	ー
	時計設定	○	ー	ー	ー	ー
	時刻表示形式	○	ー	ー	ー	ー
	操作音	○	ー	ー	ー	ー
	USB充電	○	ー	ー	ー	ー
	オートパワーオフ	○	ー	ー	ー	ー
	フォーマット	○	ー	ー	ー	ー
（FMラジオ）*	FMラジオ*	○	ー	ー	ー	ー
	オートプリセット*	ー	ー	ー	○	ー
	DX/LOCAL*	ー	ー	ー	○	○
	スキャン感度*	ー	ー	ー	○	ー
	音声出力選択*	ー	ー	ー	○	○

* ICD-UX513Fのみ

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(録音)	シーンセレクト	シーンセレクトは、(会議)、(ボイスメモ)、(インタビュー)、(おけいこ)、(オーディオ入力)、(Myシーン)から選ぶことができます。また、あらかじめ設定されているシーンセレクトのいろいろな録音設定メニュー項目を、お好みに編集します。 設定完了：変更した設定値にして処理を完了します。 現在の設定値から編集：あらかじめメニューで設定されている設定値から変更します。 初期設定に戻す：お買い上げ時の設定値に変更します。 　実行：お買い上げ時の設定値に変更して処理を完了します。 　キャンセル：実行せずに処理を終了します。 編集：選択したシーンで設定されている設定値から変更します。 **ヒント** 編集できるメニュー項目は「録音モード」、「マイク感度」(71ページ)、「LCF(Low Cut)」(71ページ)、「VOR」(31ページ)、「シンクロ録音」(37ページ)、「外部入力選択」(35、36ページ)です。「編集完了」を選択すると、処理を完了します。	28
	録音モード	音質などを設定します。 LPCM 44.1kHz/16bit：非圧縮ステレオ高音質録音 MP3 192kbps*：ステレオ標準録音 MP3 128kbps：ステレオ長時間録音 MP3 48kbps(MONO)：モノラル標準録音 MP3 8kbps(MONO)：モノラル長時間録音 **注意** FMラジオ放送は、LPCMモードでは録音はできません。LPCMに設定しているときは、自動的にMP3 192kbpsで録音されます。	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(録音)	マイク感度	マイク感度を設定します。 高 : 広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 中 *: 会議室での録音やインタビューなど、通常の会話や打ち合わせの音声を録音するときに使用します。 低 : 口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。 **注意** FM録音中(62ページ)は、マイク感度設定は無効になります。	–
	LCF(Low Cut)	LCF (Low Cut Filter)機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。 オン： LCF機能を有効にします。 オフ*： LCF機能を無効にします。 **注意** FM録音中(62ページ)は、LCF機能は働きません。	–
	VOR	VOR (Voice Operated Recording)機能を設定します。 オン： ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して、録音を始めるとVOR機能が働きます。 オフ*： VOR機能は働きません。 **注意** FM録音中(62ページ)は、VOR機能は働きません。	31
	シンクロ録音	2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。 オン： シンクロ録音機能を有効にします。 オフ*： シンクロ録音機能を無効にします。	37

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(録音)	外部入力選択	マイクジャックから録音する外部入力を選択します。 MIC IN*： 外部マイクをつないだときに選びます。 Audio IN： オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	35, 36
▶ (再生)	ノイズカット	ノイズカット機能を設定し、有効な場合は効果のレベルを調節します。 強： ノイズカットレベルを強くします。 弱： ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声が聞き取りにくいときに選びます。 オフ*：ノイズカット機能を無効にします。	41
	エフェクト	再生する音楽によって適した効果を設定します。 ポップス：中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 ロック： 低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 ジャズ： 高域を強調した張りのある音質になります。 ベース1： 低音が強調されます。 ベース2： 低音が更に強調されます。 カスタム：100Hz、300Hz、1kHz、3kHz、または10kHzの周波数帯のサウンドレベルを−3 ～ +3の7段階から設定できます。 オフ*： エフェクト機能を無効にします。 **ご注意** 内蔵スピーカーで再生しているとき、FMラジオ受信時（60ページ）、ノイズカット機能が有効になっているとき（41ページ）は、エフェクト機能は働きません。	43
	イージーサーチ	イージーサーチを設定します。 オン： 再生中、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押すと、約10秒進み、I◀◀（早戻し）を押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 オフ*： イージーサーチ機能を無効にします。コントロールボタンの ▶▶I（早送り）または I◀◀（早戻し）を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。	40

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
▶ （再生）	再生モード	再生モードを設定します。 1：　1件のファイルを再生します。 [フォルダ]*：　フォルダ内のファイルを連続再生します。 ALL：　全ファイルを連続再生します。 [リピート]1：　1件のファイルをリピート再生します。 [リピート][フォルダ]：　フォルダ内のファイルをリピート再生します。 [リピート]ALL：　全ファイルをリピート再生します。	44
	アラーム	アラーム再生を設定します。 オン：　アラーム機能を有効にします。 再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻、および以下のアラームパターンを設定します。 ビープ&再生：　ビープ音の後に選んだファイルを再生します。 ビープ：　ビープ音のみを鳴らします。 再生：　選んだファイルのみを再生します。 オフ*：　アラーム機能を無効にします。	46
✎ （編集）	保護	ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 実行：　ファイルを保護します。既に保護されているファイルを選んで実行した場合は、保護を解除します。 キャンセル：　保護あるいは保護解除を実行しません。	59
	現在位置分割	ファイルをふたつに分けます。 実行：　分割を実行します。 キャンセル：　分割を実行しません。	56
	ファイル移動	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	49
	ファイルコピー	内蔵メモリーで選んだファイルをメモリーカードの選んだフォルダにコピーします。またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。 コピーする前に、コピーしたいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	50

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(編集)	トラックマーク消去	現在位置のトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	54
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	55
	トラックマーク全分割	選んだファイルのすべてのトラックマークの位置で分割します。 実行：　トラックマーク分割を実行します。 キャンセル：　トラックマーク分割を実行しません。	57
	フォルダ内消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、ボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。 実行：　フォルダ内消去を実行します。 キャンセル：　フォルダ内消去を実行しません。	51
(表示)	表示切り換え	表示モードを設定します。 経過時間*：1ファイルの経過時間 残り時間：　停止／再生中は、1ファイルの残り時間、録音中は、録音可能時間 録音日付：　録音した日付 録音時刻：　録音した時刻	–
	ランプ	録／再ランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：　動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 オフ：　動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。 **ご注意** パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(表示)	バックライト	バックライトの点灯、消灯を設定します。 オン*： 操作をするとバックライトが10秒間点灯します。 オフ： バックライトが点灯しません。	–
(本体設定)	メモリー切り換え	録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。 内蔵メモリー*： 内蔵メモリーを使用します。 メモリーカード： 本機のメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。 **ご注意** メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。	34
	時計設定	自動*： 本機をパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。 手動： 「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。	15
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間： 12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	–
	操作音	確認音を設定します。 オン*： 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ： 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（本体設定）	USB充電	USB接続中の充電のオン／オフを設定します。 オン*：充電式電池を充電します。 オフ：充電機能は働きません。 **ご注意** 別売のUSB ACアダプターを使って充電するとき（93ページ）は、この設定は関係ありません。	–
	オートパワーオフ	操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。 5分：約5分後に電源が切れます。 10分*：約10分後に電源が切れます。 30分：約30分後に電源が切れます。 60分：約60分後に電源が切れます。 オフ：電源は自動的に切れません。	–
	フォーマット	現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。 実行：「フォーマット中...」のアニメーションが表示され、初期化します。 キャンセル：初期化しません。 **ご注意** • 本機で使うメモリーカードはパソコンでフォーマットしないでください。必ず本機で行ってください。 • あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（33、34ページ）、フォーマットを実行してください。 • フォーマットをすると保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	–

タブ	メニュー	設定項目(*：初期設定)	参照ページ
FM (ラジオ)**	FMラジオ	FMラジオモードに入ります。	60
	オートプリセット	受信可能な周波数を自動的にスキャンします。放送局はメモリーに登録されます。 実行：　オートプリセットを実行します。 キャンセル：　オートプリセットを実行しません。	63
	DX/LOCAL	FMラジオ受信中に受信感度を設定します。 DX*：　通常はこちらを選択してください。 LOCAL：放送局の送信アンテナ周辺の強電界による混信／つぶれなどがあるときは、こちらを選択してください。 **ご注意** 弱電界により受信状態が良くないときは、DXのままお使いください。	65
	スキャン感度	プリセット時のスキャン感度を設定します。 高(SCAN H)*：スキャン感度を高くします。 低(SCAN L)：　スキャン感度を低くします。	66
	音声出力選択	FMラジオ受信中あるいはFMラジオ録音中に、音声の出力先をスピーカーあるいはヘッドホンへ切り換えることができます。 ヘッドホン*：　音声はヘッドホンから出力されます。 スピーカー：　音声はスピーカーから出力されます。	67

** ICD-UX513Fのみ

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する（84ページ）

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する（85ページ）

USBメモリーとして使う（87ページ）

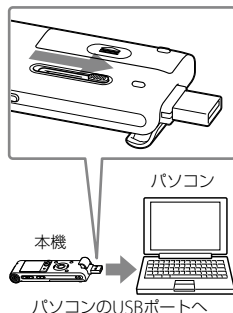
パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する（88ページ）

付属のソフトウェアSound Organizerを使って、本機で録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストを本機に転送したりできます。

パソコンに必要なシステム構成

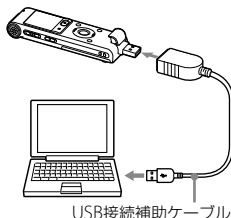
パソコンに必要なシステム構成については、89ページ、97ページをご覧ください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

1 本機のスライド式USB端子用つまみをスライドし、起動しているパソコンのUSBポートに接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

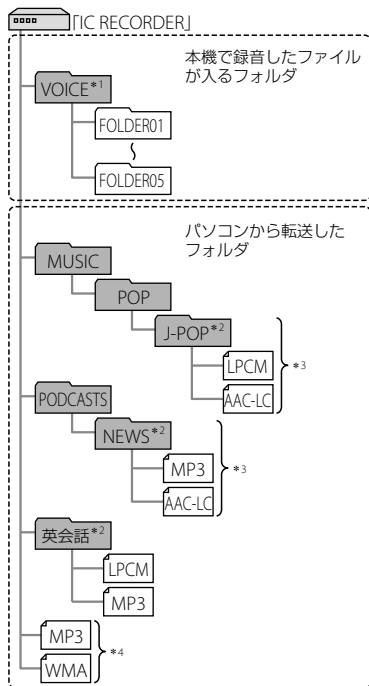
Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macintoshでは、デスクトップに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

接続するとパソコン側で本機を認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。
本機がパソコンのUSBポートに直接接続できない場合は、付属のUSB接続補助ケーブルをお使いください。

ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSB接続補助ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ず電池を挿入してからお使いください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、本機ははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。
WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、次ページの図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合

*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の (Voice)タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
(図は、フォルダ名称の例です。)

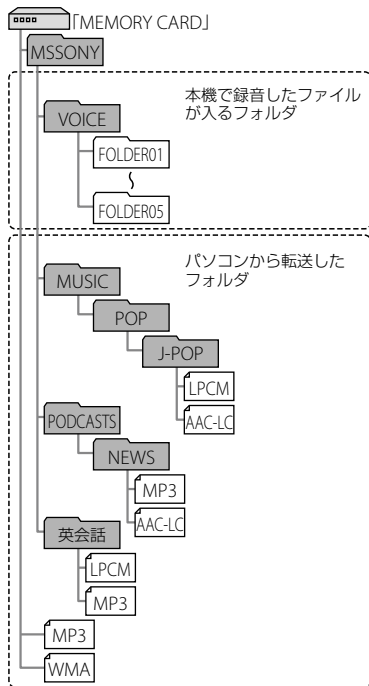
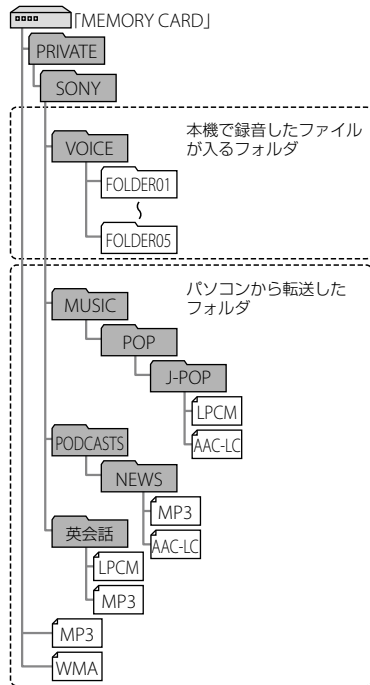
*3 音楽ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。

*4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

ヒント

- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「Unknown」と表示されます。

本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから(33、34ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティックマイクロ™(M2™)の場合

microSDカードの場合

本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。
フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：本機で録音したファイルが入るフォルダ
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）
- ：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

本機で再生できるファイルが入っていないフォルダは、本機では表示されません。

本機の（Voice）タブに表示されるフォルダ

本機で録音したファイルが入るフォルダ（VOICEフォルダ配下のフォルダ）が表示されます。

ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の（Voice）タブには表示されません。

本機の（Music）タブに表示されるフォルダ

パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ（階層が深い場合は、全て並列に表示されます。）
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ（単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。）

本機の ◎(Podcast)タブに表示されるフォルダ

パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。
ポッドキャストファイルをパソコンから本機に転送する際は、付属のSound Organizerをご使用ください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

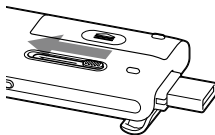
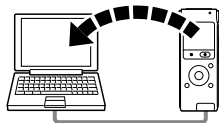
1 本機の録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDER の取り出し]を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。

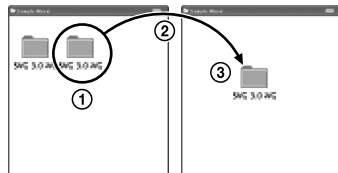
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

3 本機をパソコンのUSBポートからはずし、本機のUSBつまみを矢印の方向にスライドしてUSB端子を収納する。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する

本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

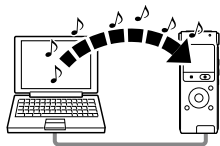
1 本機をパソコンに接続する（78ページ）。

2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動（ドラッグ）して、
③はなす（ドロップ）

3 本機をパソコンから取りはずす（83ページ）。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する

パソコンに保存してある音楽（語学）ファイル（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*）を本機にコピーして再生することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「主な仕様」（97ページ）をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する（78ページ）。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。
WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」にドラッグアンドドロップします。
本機では最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199件のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095件まで認識できます。

3 本機をパソコンから取りはずす（83ページ）。

コピーした音楽ファイルを本機で再生する

1 🗀（フォルダ）ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して ♫(Music)タブを選び、⏭（早送り）を押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ(■)を選び、コントロールボタンの▶▶I（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して再生したい音楽ファイルを選ぶ。

5 ▶（再生）／決定ボタンを押して再生を始める。

6 再生を止めるには、■停止ボタンを押す。

パソコンにある音楽ファイルを本機に転送して再生する場合の最大再生時間(ファイル数*)は下記のようになります。

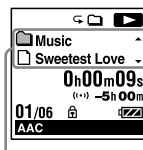
	48 kbps	128 kbps	256 kbps
ICD-UX512	89時間25分（1,341ファイル）	33時間30分（502ファイル）	16時間45分（251ファイル）
ICD-UX513F	178時間0分（2,670ファイル）	67時間5分（1,006ファイル）	33時間30分（502ファイル）

* 1ファイル4分のMP3ファイルを転送した場合

ご注意

- パソコンからコピーした音楽ファイルでは、再生はできますが、ファイルの分割、トラックマーク設定ができない場合があります。
- パソコンを使って、本機にコピーした音楽ファイルは、システムの制約によりコピー順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機にコピーすると、表示、再生の順番をコピー順に合わせることができます。

音楽再生時の画面表示について

コントロールボタンの▲または▼を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。

■：フォルダ名を表示
□：ファイル名を表示
👤：アーティスト名を表示
♫：タイトル名を表示

USBメモリーとして利用する

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については「必要なシステム構成」（97ページ）をご覧ください。

付属のSound Organizerを使う

Sound Organizerでできること

Sound Organizerでは、本機やメモリーカードとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルやポッドキャストを再生したり、本機に転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。
使用方法の詳細はSound Organizerのヘルプをご覧ください。

本機で録音したファイルを取り込む

本機で録音した音声ファイルをSound Organizerに取り込めます。
取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizerに取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizerに取り込めます。

ポッドキャストを登録／更新する

Sound Organizerにポッドキャストを登録します。
ポッドキャストを登録／更新すると、インターネットから最新のデータをダウンロード（購読）して楽しむことができます。

ファイルを再生する

Sound Organizerに取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

本機からファイルを削除する

本機に保存されているファイルを削除できます。
本機の空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作で本機内のファイルを削除してください。

本機に転送する

Sound Organizerから本機やメモリーカードにファイルを転送します。
転送された音楽やポッドキャストなどを本機で楽しむことができます。

音楽CDを作成する

Sound Organizerに取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた

- メールソフトウェアを起動して、録音した音声ファイルを添付してメールで送信できます。
- Sound Organizerに対応した音声認識ソフトウェア「Dragon NaturallySpeaking」(別売)を使って、ファイルを音声認識して文字に変換できます。

パソコンに必要なシステム構成

Sound Organizerを使用するためには、以下の環境が必要です。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Starter (32ビット版)
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2 以降
- Windows Vista Business Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2 以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3 以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3 以降
- Windows XP Professional Service Pack 3 以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降

標準インストール(日本語版のみ)

ご注意

- 上記以外のOSは動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
  Windows XP：Pentium III プロセッサー500 MHz以上
  Windows Vista：Pentium III プロセッサー800 MHz以上
  Windows 7：Pentium III プロセッサー1 GHz以上
- メモリー
  Windows XP：256 MB以上
  Windows Vista：512 MB以上（Windows Vista Ultimate/Business/Home Premiumの場合は1 GB以上推奨）
  Windows 7：1 GB以上（32ビット版）／2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
  400 MB以上
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。
  また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
  画面の色：High Color（16ビット）以上
- サウンドボード
  SoundBlaster互換推奨
- USBポート
  機器・メディアをご使用になるには、使用可能なUSBポートが必要です。
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
  また、Windows 7をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[はい]（Windows Vistaの場合は[続行]）をクリックしてください。
- Windows XPの制限ユーザーでは、Sound Organizerを起動できません。
- Windows XPでソフトウェアのアップデート機能を使うには、コンピューターの管理者としてログオンする必要があります。
- Sound OrganizerのインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
  Sound Organizerをアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
  ただし、プリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。

- Sound Organizerをアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダ内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムにSound Organizerをインストールしないでください。データの不整合が生じる場合があります。

1 本機を接続していないことを確認し、パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

CD-ROMを入れると「Sound Organizerのインストール」が自動的に起動し「Sound Organizer インストーラーへようこそ」の画面が表示されます。
起動しない場合は、Windowsエクスプローラで CD-ROMドライブを右クリックして開き、「SoundOrganizerInstaller.exe」をダブルクリックして、画面の指示に従って操作してください。

3 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

4 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、「次へ」をクリックする。

「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

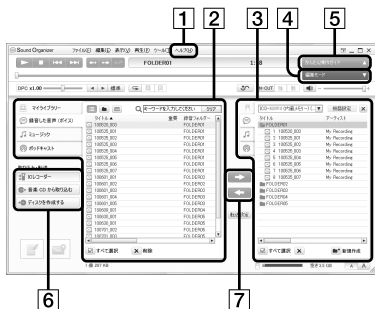
5 「インストールの開始」の画面が表示されたら、[インストール] をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、「終了」をクリックする。

ご注意

Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になる場合があります。

Sound Organizerの基本操作について

1 ヘルプ
Sound Organizerのヘルプを表示します。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2 Sound Organizerファイル一覧（マイライブラリー）
Sound Organizerのマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。
録音した音声（ボイス）：録音した音声ファイルの一覧を表示します。
本機で録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。
音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ポッドキャスト：ポッドキャストの一覧を表示します。

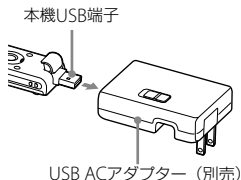
3 ICレコーダーファイル一覧
パソコンに接続している本機またはメモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

4 編集モードボタン
編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5 かんたん操作ガイドボタン
Sound Organizerの基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

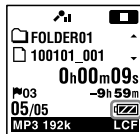
6 サイドバー（取り込み・転送）
ICレコーダー：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。
音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。
ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

7 ファイル転送ボタン
➡：Sound Organizerのファイルを本機またはメモリーカードに転送します。
⬅：本機・メモリーカードのファイルをSound Organizerのマイライブラリーに取り込みます。

USB ACアダプターにつないで使う

USB ACアダプター（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつないで充電式電池を充電できます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。電池を使いきった状態から約3時間30分で充電が完了します。＊

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 本機のスライド式USB端子用つまみをスライドし、USB ACアダプターにつなぐ。

充電中は、電池マークがアニメーション表示されます。
充電しながら本機を使うことができます。

＊ 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

ご注意

- 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
- 単4形アルカリ乾電池（別売）は充電できません。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。

2 録／再ランプが消えていることを確認する。

3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中（録／再ランプが赤に点灯、点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き挿ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。また、ファイル数が多いと、起動画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- USB ACアダプター（別売）使用時は、電池残量表示は表示されません。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  – 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  – 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  – 窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  – 風呂場など湿気の多いところ。
  – ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  – 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  – 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  – 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- フォーマット(初期化)は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いてフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードをフォーマットすると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音/再生/フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間や、アクセスランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。
- "MagicGate™"(マジックゲート)は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。本機は、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用できません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

付属のSound Organizerをお使いの場合は、89ページをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
- Windows Vista Business Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
- Mac OS X（v10.2.8-v10.6）

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意

- 左記以外のOSは動作保証いたしません。（Windows 98/2000/Linuxなど）
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ http://www.sony.co.jp/ic-rec-support をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）
ICD-UX512：
2 GB（約1.80 GB = 1,932,735,283 Byte）
ICD-UX513F：
4 GB（約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

周波数範囲
LPCM 44.1kHz/16bit：50 Hz ～ 20,000 Hz
MP3 192kbps：50 Hz ～ 20,000 Hz
MP3 128kbps：50 Hz ～ 16,000 Hz
MP3 48kbps(MONO)：50 Hz ～ 14,000 Hz
MP3 8kbps(MONO)：60 Hz ～ 3,400 Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数[*1]
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.mp3

*1 これに加えて本機の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA対応ビットレート、サンプリング周波数[*2]
ビットレート：32 kbps ～ 192 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：44.1 kHz
拡張子：.wma

*2 WMA Ver.9に準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

AAC-LC対応ビットレート、サンプリング周波数[*3]
ビットレート：16 kbps ～ 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.m4a

*3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。

リニアPCM対応サンプリング周波数、ビット
サンプリング周波数：44.1 kHz
ビット：16 ビット
拡張子：.wav

FMラジオ受信周波数
76.0 MHz ～ 90.0 MHz
IF 128 kHz

FMアンテナ
ステレオヘッドホンコードアンテナ

スピーカー
直径16 mm

入・出力端子
外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応
最小入力レベル：0.9 mV
ヘッドホン（ステレオミニジャック）
負荷インピーダンス：8 Ω～ 300 Ω
USB端子（USB Type-A端子）
High-Speed USB対応
メモリースティックマイクロ™（M2™）／
microSD対応スロット

再生スピード調節（DPC）
2倍速～ 0.50倍速（MP3）
1倍速～ 0.50倍速（LPCM/WMA/AAC-LC）

実用最大出力
90 mW

電源
DC1.2 V、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）1本
DC1.5 V、単4形アルカリ乾電池（別売）1本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法（最大突起部含まず）
約36.6 mm×102.0 mm×14.6 mm
（幅／高さ／奥行き）（JEITA*4）

質量
約59 g（充電式ニッケル水素電池1本含む）（JEITA*4）

*4 電子産業技術協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

付属品
8ページ参照

別売アクセサリー
メモリースティックマイクロ™（M2™）
MS-A8GDP、MS-A4GDP
microSD/microSDHC SR-8A4、SR-4A4、SR-2A1
アクティブスピーカー SRS-M50
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CS10、ECM-CZ10、ECM-TL1
オーディオコード RK-G136、RK-G139
充電式ニッケル水素充電池単4形
NH-AAA-2BKB
USB ACアダプター AC-U501AD
ニッケル水素電池専用充電器 BCG34HSS

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間[*5][*6]

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	録音シーン[*7]	内蔵メモリー		メモリーカード				
		ICD-UX512	ICD-UX513F	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit		3時間0分	6時間0分	3時間0分	6時間0分	12時間5分	24時間15分	48時間40分
MP3 192kbps	(会議) (インタビュー) (おけいこ) (オーディオ入力) (Myシーン)	22時間20分	44時間40分	22時間20分	44時間40分	89時間25分	178時間0分	357時間0分
MP3 128kbps	(ボイスメモ)	33時間30分	67時間5分	33時間30分	67時間5分	134時間0分	268時間0分	536時間0分
MP3 48kbps (MONO)	—	89時間25分	178時間0分	89時間25分	178時間0分	357時間0分	715時間0分	1,431時間0分
MP3 8kbps (MONO)	—	536時間0分	1,073時間0分	536時間0分	1,073時間0分	2,147時間0分	4,294時間0分	8,589時間0分

*5 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間（101ページ）をご確認ください。

*6 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。

*7 お買い上げ時の設定です。

電池の持続時間

充電式電池の持続時間＊[1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時＊[2]	ヘッドホン再生時	FM録音時＊[3]
LPCM 44.1kHz/16bit	約21時間0分	約16時間0分	約34時間0分	—
MP3 192kbps	約23時間0分	約17時間0分	約41時間0分	約7時間30分
MP3 128kbps	約23時間0分	約17時間0分	約41時間0分	約7時間30分
MP3 48kbps(MONO)	約24時間0分	約17時間0分	約41時間0分	約7時間30分
MP3 8kbps(MONO)	約29時間0分	約17時間0分	約41時間0分	約8時間0分
音楽ファイル (128kbps/44.1kHz)	—	約17時間0分	約41時間0分	—
FM受信＊[3]	約9時間0分			

乾電池の持続時間＊[1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時＊[2]	ヘッドホン再生時	FM録音時＊[3]
LPCM 44.1kHz/16bit	約22時間0分	約21時間30分	約49時間0分	—
MP3 192kbps	約27時間0分	約23時間0分	約61時間0分	約8時間30分
MP3 128kbps	約30時間30分	約23時間0分	約61時間0分	約8時間30分
MP3 48kbps(MONO)	約32時間30分	約23時間0分	約61時間0分	約8時間30分
MP3 8kbps(MONO)	約42時間0分	約23時間0分	約61時間0分	約10時間0分
音楽ファイル (128kbps/44.1kHz)	—	約23時間0分	約61時間0分	—
FM受信＊[3]	約11時間0分			

＊[1] 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件によって短くなる場合があります。

＊[2] 音量レベルを14に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

＊[3] ICD-UX513Fのみ

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口（裏表紙）までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、102ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは（本機）

症状	原因／処置
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク（別売）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • MP3録音時の一時停止、VOR録音、シンクロ録音のつなぎ目でもノイズが入ることがあります。 • AAC-LC/WMAファイル再生時は、ノイズカット機能は働きません。
パソコンで充電できない。	• 起動しないパソコンに接続しても充電できません。 • パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。 • メニューで「USB充電」が「オフ」になっている。 → パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする（76ページ）。 • パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（97ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。

症状	原因／処置
充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	• 充電式電池が入っていないか、充電式電池以外の電池（アルカリ電池、マンガン電池など）が入っている。 • 充電式電池を入れる向きが正しくない。 • ニッケル水素以外の充電式電池が入っている。 • 劣化した充電式電池を使用している。 → 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換してください。 • 本機のUSB端子が正しく接続されていない。 • メニューで「USB充電」が「オフ」になっている。パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする（76ページ）。 • 内蔵スピーカーで再生中やFMラジオ受信中（ICD-UX513Fのみ）は充電できません。
電源が切れない。	• 停止中にホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドする（14ページ）。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする（14ページ）。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない（11ページ）。
電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（76ページ）。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
本機が動作しない。	• パソコンで初期化（フォーマット）している。 → 本機で初期化を行ってください（76ページ）。
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗している（13ページ）。 • 電源がオフになっている。 → ホールド／電源スイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする（14ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドする（10ページ）。

症状	原因／処置
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（22ページ）。 • ヘッドホンをつないでいる（40ページ）。 • FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「ヘッドホン」に設定されている（ICD-UX513Fのみ）。 →「スピーカー」に切り換える（67ページ）。
ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。 • FMラジオ受信中に、メニューの「音声出力選択」が「スピーカー」に設定されている（ICD-UX513Fのみ）。 →「ヘッドホン」に切り換える（67ページ）。
録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されている。 →「オン」に切り換える（74ページ）。
「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する（26ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（□）に199件のファイルが入っているか、または、全体で4,074件のファイル（フォルダが21個のとき）が入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する（26ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 • 再生専用エリアの ♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブで管理されているフォルダには録音できません。
再生音量が小さい。	• 音量が絞られている。 → 音量－／＋ボタンを押して音量を調節する（22ページ）。 • シーンセレクトが (ボイスメモ)または(オーディオ入力)になっている。 → 録音状況にあったシーンセレクトにする（28ページ）。 • マイク感度が「低」になっている。 →「高」または「中」のいずれかに切り換える（71ページ）。
録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする（31ページ）。

症状	原因／処置
VOR機能が働かない。	• シンクロ録音では、はVOR機能は働きません（37ページ）。 • FMラジオを録音している。FM録音中はVOR機能は働きません（ICD-UX513Fのみ）。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• DPC（速度調節）スイッチが「入」になっているため、コントロールボタンの ▲ または ▼ で調節した再生スピードで再生されている。 → DPC（速度調節）スイッチを「切」にすると、通常の速度で再生されます。または、コントロールボタンの ▲ または ▼ で再生スピードを調節してください（42ページ）。
ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 選んだフォルダ（□）に199件のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する（26ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 • 本機で録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は、分割できません。
メモリーカードが認識されない。	• メモリーカード内の別ファイル（画像データなど）によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。Windowsのエクスプローラまたは Macintoshのデスクトップなどから不要なデータを消去するか、本機でメモリーカードの初期化を行ってください。 • 本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください（33、34ページ）。 • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない（15ページ）。
録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音中、またはFMラジオ受信中（ICD-UX513Fのみ）は、表示されないメニューがあります（69ページ）。

症状	原因／処置
本機に表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	• 本機ではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
電池の持続時間が短い。	• 101ページの電池の持続時間は、音量レベルを14で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る（14ページ）か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定（76ページ）時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。
充電完了後、長い期間USB ACアダプターにつないだままにすると、はずしたときに電池がなくなっている。	• 一度充電完了したあとは、つないだままにしていても自動的に再充電は行いません。USB ACアダプターにつないでいる間は本機を使用することができますが、はずしたあとは再充電してください。
電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	• 本機の充電可能な温度範囲外になっている。周囲温度が動作温度（5℃～ 35℃）になるようにする。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していなかった。何回か充電、放電（本機に入れて使用する）を繰り返す。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換する。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約3時間30分かかります。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのデスクトップを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
「アクセス中...」のアニメーション表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

症状	原因／処置
ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
本機に転送したファイルが表示されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • 本機で対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください(98ページ)。
パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSB接続補助ケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を直接、または付属のUSB接続補助ケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成(97ページ)以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
転送したファイルが再生できない。	• 転送したファイルが本機で再生可能なファイル形式(LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a))と異なる。ファイルの名称を確認してください(98ページ)。
パソコンが起動しない。	• 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。
FMラジオ受信中、音声が小さい、または音質がよくない(ICD-UX513Fのみ)。	• 電池が消耗している。 → 充電池の場合は充電をするか、新しい電池に交換してください(11ページ)。 • テレビから離してお使いください。
FMラジオ受信中、テレビの画像が乱れる。(ICD-UX513Fのみ)	• 室内アンテナを使用しているテレビの近くでFMラジオを受信している場合は、テレビから離れてください。
FMラジオの放送局を受信できない、雑音が聞こえる(ICD-UX513Fのみ)。	• ステレオヘッドホンをつないでいない。付属のステレオヘッドホンがFMアンテナの役割をします。 → ステレオヘッドホンを Ω (ヘッドホン)ジャックにつなぎ、コードをのばしてください。 • メニューで「DX/LOCAL」が「LOCAL」になっている。 → 「DX/LOCAL」設定を「DX」にする(65ページ)。

症状	原因／処置
FMラジオ放送がプリセット登録できない(ICD-UX513Fのみ)。	• FMラジオ放送局が30件登録されている。 → プリセット登録を消去する(64ページ)。 • メニューで「スキャン感度」が「低(SCAN L)」になっている。 → 「スキャン感度」設定を「高(SCAN H)」にする(66ページ)。
FMラジオ録音時、LPCM録音モードで録音できない。(ICD-UX513Fのみ)	• FMラジオモードでは、LPCM録音はできません。録音モードがLPCMに設定されている場合、自動的にMP3 192kbps録音モードで録音されます。

こんなときは(付属のSound Organizer)

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が少ない。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとした。 → 対応しているOS (89ページ)にインストールしてください。 • Windows XPの制限ユーザー、Windows VistaまたはWindows 7のGuestアカウントでログオンしている。 → 「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。 • 日本語以外のOSにインストールしようとした。 → 日本語のOSにインストールしてください。
本機と接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – 本機側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行している。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。 • 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンに全てバックアップした後で、内蔵メモリーおよびメモリーカードを本機でフォーマットしてください(76ページ)。

症状	原因／処置
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていない。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 • ミュートが解除されていない。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。） • WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、 雑音が入る。	• 分割を行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度本機に戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（*本機の形式に合ったファイル形式で保存してください。）
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、本機内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	• 本機と通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、本機内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ表示	原因
ホールド	• 本機が誤操作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。ホールド／電源スイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(10ページ)。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか(11ページ)、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• 本機が対応していないメモリーカードが使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(32ページ)。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。本機ではお使いいただけません。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が有効なメモリーカードが使われているため、ご利用できません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• パソコンで本機をフォーマットしたためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで本機のフォーマットをしてください(76ページ)。パソコンでフォーマットしないでください。

メッセージ表示	原因
処理を継続できません	• 電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください(76ページ)。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(54ページ)。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1件もファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか(11ページ)、充電済みの電池と取り換えてください。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。本機で保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(59ページ)。
既に設定済みです	• 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(46ページ)。
登録が一杯です	• FMラジオのプリセット登録は30件までです。未使用のプリセット登録を解除してください。(ICD-UX513Fのみ)

メッセージ表示	原因
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式(拡張子)は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは本機の仕様をご覧ください(98ページ)。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• 再生専用エリアの ♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブで管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 • メモリーカードが後発不良(BADBLOCK)になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限(LPCMは2 GB、MP3は1 GB)に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
ノイズカット設定時は無効です	• ノイズカットを設定している場合は、エフェクト設定よりも優先されます。ノイズカット設定を解除してください(41ページ)。
フォルダを切り換えます	• 📁 または 📁 で表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください。
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」の設定はできません。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。

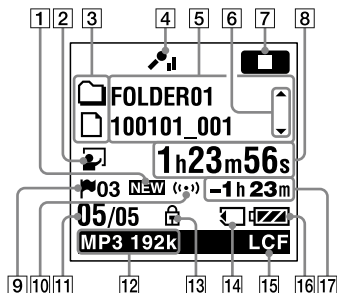
メッセージ表示	原因
メモリーカードでは操作できません	• メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。本機のメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください（33、34ページ）。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口（裏表紙）までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機に転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限（LPCMは2 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

表示窓について

停止時

1 ポッドキャスト新着情報

2 シーンセレクト設定表示
選択しているシーンが表示されます。
シーンが設定されているときにだけ表示されます。
：会議
：ボイスメモ
：インタビュー
：おけいこ
：オーディオ入力
My：Myシーン

3 曲情報種別表示
：録音可能フォルダ
：再生専用フォルダ
：ポッドキャストフォルダ
：タイトル
：アーティスト
：ファイル

4 録音時のマイクの感度が表示されます。
：高
：中
：低

5 曲情報表示
曲情報種別に合わせたそれぞれの名称（フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名）が表示されます。

6 曲情報切り換え操作ガイド
コントロールボタンの▲または▼を押して、曲情報表示を順に切り換えることができます。

7 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。
：停止中
：再生中
録音：録音中
：録音一時停止中に点滅

VOR 録音 ：VOR録音中

VOR ●II ：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに ● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。

SYNC 録音 ：シンクロ録音中

SYNC ●II ：シンクロ録音一時停止中に点滅

◀◀ ▶▶ ：早戻し／早送り再生中

|◀◀ ▶▶| ：連続ファイル戻し／送り

8 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

9 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

10 アラーム表示
ファイルにアラームが設定されているときに表示されます。

11 位置情報表示
選んだファイル番号が分子にフォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

12 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はそのファイルの録音モードが表示されます。

LPCM 44/16 ：本機で録音、またはコピーされたLPCMファイル

MP3 8k 、MP3 48k 、MP3 128k 、MP3 192k ：本機で録音、またはコピーされたMP3ファイル

パソコンなどからコピーされたファイルは、ファイル形式表示（LPCM／MP3）のみが表示されます。

WMA ：コピーされたWMAファイル

AAC ：コピーされたAAC-LCファイル

録音モード情報を取得できないときは、下記のように表示されます。

---- ：不明

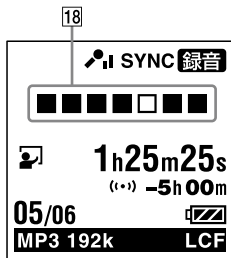
13 保護マーク
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

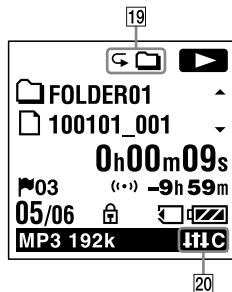
14 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

15 LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

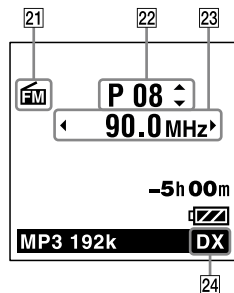
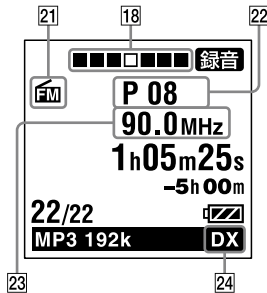
16 電池マーク

17 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

録音時

18 録音動作のアニメーション表示
録音時（オート（AGC）録音、VOR録音、シンクロ録音、FM録音）に録音の進行状況をアニメーション表示します。

再生時

19 再生モード表示
1：1件
：フォルダ
ALL：全件
1：1件ファイルリピート
：フォルダ内ファイルリピート
ALL：全ファイルリピート

20 ノイズカット／エフェクト表示
ファイルの音質を切り換えているとき表示されます。
N-CUT：ノイズカット
P：ポップス
R：ロック
J：ジャズ
BA1：ベース1
BA2：ベース2
C：カスタム

FMラジオ受信時
（ICD-UX513Fのみ）

FMラジオ録音時
（ICD-UX513Fのみ）

21 FMマーク

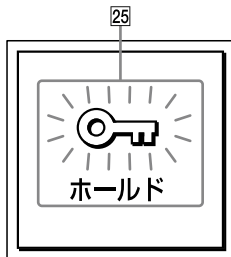
22 プリセット番号

23 周波数

24 FM感度

LOCAL：LOCAL

DX：DX

ホールド状態時

25 ホールド表示
誤操作防止(ホールド)状態になっているときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。
ホールドを解除するには、電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドします
(10ページ)。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
  また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、パソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド（Ni-Cd）
ニッケル水素（Ni-MH）
リチウムイオン（Li-ion）

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口（裏表紙）またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 **充電式電池について**

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/ic-rec-support)
  IC レコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［IC レコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-UX512/UX513F
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	**0120-333-020**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2511**
修理相談窓口	フリーダイヤル	**0120-222-330**
	携帯電話・PHS・一部のIP電話	**0466-31-2531**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ **左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」 を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。**

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

* 4 1 9 6 5 4 6 0 1 * (4)